

医療費助成について

パーキンソン病の症状の程度によって、**特定医療費(指定難病)支給認定申請**の対象となりますので、主治医とお住まいの地域の保健所へご相談下さい。

大阪府茨木保健所：072(624)4668

高槻市保健所：072(661)9332

服薬支援手帳

使用開始日： 年 月 日～

この冊子は下記の会議で作成されました。

～ 三島圏域難病医療ネットワーク会議 ～

高槻市医師会・茨木市医師会・摂津市医師会
高槻市薬剤師会・茨木市薬剤師会・摂津市薬剤師会
大阪府訪問看護ステーション協会
大阪府介護支援専門員協会(高槻・島本支部)
大阪府茨木保健所・高槻市保健所
大阪医科大学附属病院

三島圏域難病医療ネットワーク会議は、平成17年度から、地域で在宅療養生活をされている神経難病の方の療養生活の向上を目指して、地域の医療機関をはじめ、薬局・訪問看護・居宅介護・行政機関等の連携を深めるために開催してします。

お名前

薬局名

医療機関で診察を受ける際や、薬局でお薬をもらう際は、確認シートを持参しましょう！

目 次

はじめに	1
パーキンソン病の 症状と治療	2～3
パーキンソン病の 主なお薬の説明	4～5
主なお薬の副作用	6
飲み忘れた時の対処	7
薬局について	8～9
確認シート(記入例)	10～11
確認シート	12～13
別刷り 確認シート	10枚

はじめに

パーキンソン病は手足のふるえや、動作がゆっくりになったり、姿勢が悪くなったりするなど、動きに関わる症状だけでなく、声が小さくなって聞きかえされたりするなどの症状があります。ただし症状の個人差が大きいともいわれています。

また症状の変動が激しくなると苦痛も大きくなりますので、日ごろの症状は別刷りの確認シートに記録することが大切です。

1日のなかでの症状の変化(日内変動)を把握し、あなたの生活時間に合わせて、どのお薬を何時に、どのくらいの量を飲むのが良いのかなど、主治医と相談しながら、あなたに合った治療を受けるようにしましょう。

パーキンソン病の症状と治療

●症状に気がきましょう

パーキンソン病は、脳のなかの神経伝達物質の一つであるドーパミンが減少することで起こると考えられています。

その結果、手足がふるえる（**振戦**）・筋肉がこわばる（**筋固縮**）・動作が遅くなる（**無動**）・姿勢が悪くなる（**姿勢反射障害**）などの症状が現れるほか、すり足や小きざみな歩行、声が小さくなる、食べものが飲み込みにくくなるなどの運動症状や、よだれ、便秘、無表情、味や臭いについての感じがにぶくなったり、幻覚などの症状が現れることもあります。

ご自身のこれらの症状が、一日のなかで、どのような時に起こり、日常生活にどのように支障をきたしているのかを気付くことが大切です。



●お薬を飲みましょう

パーキンソン病の治療は、脳のなかの不足したドーパミンを補う薬物治療が最も重要です。

ドーパミンは飲み薬として直接補充することができます。またドーパミンの働きを助ける複数のお薬が使用できるようになっています。さらに、効果の異なるお薬を組み合わせ、より効果的な治療を行うなど、きめ細かい対応がなされています。

ただ、病状に合わせた適切な治療を行うためには、定期的な診察が必要です。ご自分の判断で服用を止めたり、減らしたりせずに指示通りに服用して下さい。また、ご自身の生活リズムに合わせた服用の工夫も大切です。

●運動をしましょう

日常の散歩やリハビリテーションなどの運動療法も、病状の安定や緩和につながります。

日常生活に積極的に運動を取り入れましょう。

パーキンソン病の主なお薬の説明

★レボドパ（L-dopa）製剤

脳内に不足したドーパミンを直接補充する薬

薬の名前：ネオドパストン・メネシット・マドパーなど

★ドパミン受容体作動薬

脳内のドーパミン受容体に直接作用することにより、パーキンソン病で足りなくなったドーパミンの作用を補い、症状を改善する薬

薬の名前：ビシフロール、レキップ、ミラベックス
ニュープロ（貼薬）、パーロデル、ペルマックス、
カバサールなど

★COMT（コムト）阻害薬

ドーパミンの原料となるレボドパを分解してしまう「COMT」という酵素の働きを抑える薬

薬の名前：コムタンなど



★MAO-B 阻害薬

ドーパミンを脳内で分解してしまう「MAO（マオ）」という酵素の働きを抑える薬

薬の名前：エフピーなど

★抗コリン薬

ドーパミンが減ってしまったことにより過剰になっているアセチルコリンの働きを抑えるための薬

薬の名前：アーテン、パーキン、アキネトンなど

★ドパミン放出促進薬

脳内の神経細胞からドーパミンが放出されるのを促進させる薬

薬の名前：シンメトレルなど

★ノルアドレナリン補充薬

パーキンソン病では、ドーパミンだけでなく、ノルアドレナリンも減少します。そのノルアドレナリンを補充する薬

薬の名前：ドプスなど

主なお薬の副作用

パーキンソン病薬の副作用として飲み始めに多いのが吐き気や食欲不振です。

また長く飲んでいると、睡眠障害・幻覚や妄想がおこることがあります。それ以外にも口が渴いたり、便秘や自分の意思に反して勝手に体が動いてしまう（ジスキネジア）など、お薬の種類によって出てくる副作用が違います。また個人差もあります。

さらに、症状の改善が見られたお薬を飲んでいながらもかかわらず、突然スイッチがオフになったようにお薬の効果が無くなったり、突然スイッチがオンになりお薬の効果が表れたりすることがあります（オン・オフ現象）。

またお薬を長く飲んでいると効いている時間が短くなって、切れている時間帯がみられることがあります（ウェアリング・オフ現象）。これらの現象にも、うまく対応していかなくてはなりません。



お薬は効果と副作用のバランスを取りながら、量や種類を調節していくことが大切です。

そのためには、自分の判断でお薬の服用を中止してはいけません。

副作用など心配な事は、別刷りの確認シートに記録し主治医や薬剤師に相談してください。

飲み忘れ時の対処

飲み忘れに気づいた時間が、本来の飲む時間からあまり経っていなければ、気づいた時に飲んでください。

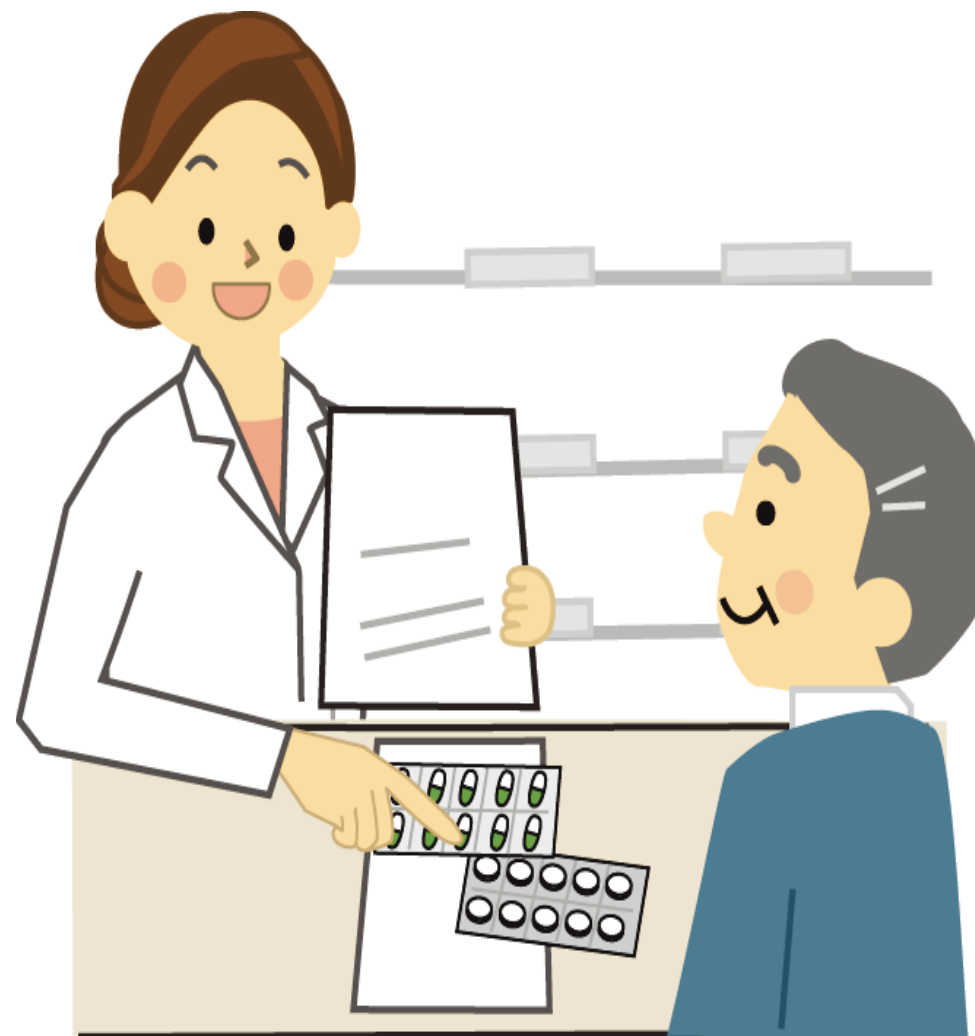
ただし、飲み忘れた分を含めて2回分をまとめて飲むことは避けてください。

対処方法はお薬によって若干異なりますので、あらかじめ主治医または薬剤師に必ず確認しておきましょう。




薬局について

- 近くの薬局で相談できるかかりつけ薬局を持ちましょう。
- お薬手帳を持ちましょう。
- 飲みづらいお薬は、粉碎して粉にしたり、お湯に溶かしてかんいけんたくほう（簡易懸濁法）飲むことが可能な場合がありますので、薬剤師に相談しましょう。
- 1度にたくさんの種類のお薬を飲まれている場合、一つの袋にまとめることいっぽうか（一包化）ができます。
- お薬の飲み忘れや飲み間違い防止のために、薬剤師の訪問指導や、薬局によるお薬の配達については、かかりつけ薬局に相談しましょう。
- 介護保険のサービス利用については、担当のケアマネジャーにご相談ください。



【確認シート】 1日のパーキンソン病の症状とお薬を

(時間) 

1. 日常生活 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

睡眠・食事	←→	【朝】								【昼】					
トイレ・入浴				(大)							(小)				
外出・運動					散歩、訪問リハビリ、病院等						デイスサービス				

2. 困っている症状について

病気の症状	手足のふるえ															
	動きづらさ					起きられない・リハビリしようとしても体が動かない										
	すり足や小刻みな歩行															
	こわばり															

薬の副作用	ねむけ															
	動きづらさ															
	意思に反して勝手に体が動く															

上記以外で、ご自身の気になる症状を書きましょう。

3. パーキンソン病のお薬について (パーキンソン病のお

マドパー	←→															

パーキンソン病の薬を書き出して、どの時間に飲んだらよいかも確認しましょう。

確認しましょう(記入例)  記入日 年 月 日

15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1 2 3 4

【夕】

入浴

←→

ストレッチ

(小)

(小)

夕飯のときに手が震える・時間がかかる

トイレに間に合わない

症状がある時間帯を矢印で書いて、具体的に困ったことも書きましょう。

薬はどれか、主治医又は薬剤師に確認しましょう！)

飲んだ時間を「●」で、薬が効いていると思う時間帯を矢印で書きましょう。

【確認シート】 1日のパーキンソン病の症状とお薬を

(時間)



1. 日常生活

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

睡眠・食事														
トイレ・入浴														
外出・運動														

2. 困っている症状について

病気の症状	手足のふるえ													
	動きづらさ													
	すり足や 小刻みな歩行													
	こわばり													
薬の副作用	ねむけ													
	動きづらさ													
	意思に反して 勝手に体が動く													

3. パーキンソン病のお薬について (パーキンソン病のお

確認しましょう



記入日 年 月 日

15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1 2 3 4

薬はどれか、主治医又は薬剤師に確認しましょう!

(必要に応じてコピーしてお使い下さい)(ご自身の情報です大切に保管して下さい)